

まほう



かいばら
柏原町 木の根橋



JR福知山線 柏原駅



特定非営利活動法人 兵庫県腎友会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-1-21 福建会館ビル6F TEL.078 (371) 4382 FAX.078 (371) 8840
ホームページ●<https://npohjk.or.jp/> E-mail●npohyojin@nifty.com

- | | | | | | |
|------------|-----------|------------------|-----------|--------------------|--------------------|
| ■阪神ブロック事務局 | 〒663-8215 | 西宮市今津水波町1-7 | ドミトリー高木1F | TEL.0798 (36) 9731 | FAX.0798 (36) 9732 |
| ■神戸ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7370 | FAX.078 (371) 8840 |
| ■東播ブロック事務局 | 〒650-0012 | 神戸市中央区北長狭通5-1-21 | 福建会館ビル6F | TEL.078 (958) 7323 | FAX.078 (958) 7102 |
| ■西播ブロック事務局 | 〒672-8048 | 姫路市飾磨区三宅1-192 | 田中興産ビル6F | TEL.079 (285) 0577 | FAX.079 (287) 6038 |

認知症を知る

日本全国で高齢化がすすんでいるように透析患者も高齢化がすすんでいます。

「認知症になるのでは？」「認知症なのでは？」
「認知症ってなに？」と“認知症”に対しての不安はだれもが持っていると思います。
恐れる前にまずは“認知症”について教えてもらいましょう。

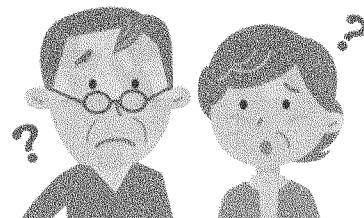


医療法人社団裕和会
長尾クリニック 院長

長尾 和宏 先生

●職歴

1984年 東京医科大学卒業 大阪大学第二内科入局
1991年 医学博士（大阪大学）授与 市立芦屋病院内科医長
1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業



第11回

受診を嫌がる認知症の人への対応

「夫が認知症のようだが、受診を勧めるとものすごく嫌がるのですが・・・」。最近、そんな相談をよく受けます。たいていの夫は妻や子供にそうされると怒り出します。「もの忘れ外来」への最初の受診は結構高いハードルです。嫌がる夫を「もの忘れ外来」に連れていく方法を紹介します。一つは風邪をひいた時です。ついでに健康診断という口実で検査を促します。あるいは、妻や子供が風邪（実は仮病）で受診するけど不安なので付き添って欲しいという嘘を使う方法もあります。妻のカルテを作る必要はありません。最初は妻に聴診器を当てて、横で見ている夫に安心を与えることが大切です。私は「旦那さんはお元気ですか？ 物忘れはありませんか？ 私は最近ひどくてね」などと世間話を始めます。話しているうちに不安が解けて「じゃあ、私もついでにもの忘れテストを受けてみるわ」と言い出す人がいます。透析を受けている人にもこんな状況が時々あります。

しかし頑として受診を拒否する人もおられます。そんな場合は、最初にこちらから家に押しかけることもあります。あくまで「妻の友達が家に遊びに来た」という設定です。決して病気の話などせず友人同士の世間話に徹します。それを聞いている夫に挨拶をします受診拒否という壁は一度越えてしまえば、その後はスムーズに進むことが大半です。

本当に認知症なのかどうか、どんなタイプの認知症かを知っておくことは大切です。なかには家族が勝手に認知症だと思っていても頭部CTを撮ると「慢性硬膜下血腫」で、血腫を除去する手術を受けると嘘のように認知機能が回復する人もいます。あるいは甲状腺ホルモンを補充するとこれもまた嘘のように良くなる人もいます。やはり最低限の検査は必要です。また介護が必要ならば、介護認定の申し込みをしなければなりません。その際、必ず「主治医の意見書」が必要ですから生活状況を知っている主治医との関わりは重要です。